

朗読検定

2018年春期（第96回～97回）受検要項

【全級合格基準】

筆記および実技試験 各50点満点 それぞれ80%以上の得点獲得で合格とする

【4級】

4級の目的 筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・発声方法や朗読についての初歩的な知識を身につけること
- ・文学に関する初歩的な知識を身につけること

4級の目的 実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・しっかりと発声ができること
- ・明瞭な発音で、正確に読めること
- ・語り部分を、読む速度や抑揚、間の取り方に工夫して正確に読めること

－実技試験内容と採点項目－

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ①発声課題 | (15点) |
| ◆時間（規定時間をクリア出来ているか） | 5点 |
| ◆声量（しっかりと発声出来ているか） | 5点 |
| ◆安定（安定した発音ができているか） | 5点 |
| ②滑舌課題 早口言葉 | (15点) |
| ◆時間（制限時間内に読み終わられるか） | 5点 |
| ◆正確さ（読み間違いなく、明瞭な発音か） | 5点 |
| ◆リズム（一定のリズムで読めるか） | 5点 |
| ③作品朗読 宮沢賢治・作「注文の多い料理店」より抜粋 | (20点) |
| ◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来るか） | 5点 |
| ◆読む速度と間の取り方（聴きやすい速度と間を取って読めるか） | 5点 |
| ◆滑舌と誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めるか） | 5点 |
| ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） | 5点 |

【3級】

3級の目的 筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・アクセントの初歩的な知識を身につけること
- ・文学に関する初歩的な知識を身につけること

3級の目的 実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・明瞭な発音で、正確に読むことができること
- ・短文を正しいアクセントで読むこと
- ・文章に合った間の取り方、区切り、抑揚、緩急、強調表現ができること
- ・語りと台詞部分が判別できる読み方ができること

－実技試験内容と採点項目－

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ①滑舌課題 「外郎売り」より | (15点) |
| ◆時間 (制限時間内に読み終わっているか) | 5点 |
| ◆正確さ (読み間違いなく、明瞭な発音か) | 5点 |
| ◆リズム (一定のリズムで読めているか) | 5点 |
| ②プロミネンス課題 | (15点) |
| ◆強調 (しっかりと強調表現ができるか) | 5点 |
| ◆滑舌と誤読 (読み間違いなく、明瞭な発音で読めるか) | 5点 |
| ◆アクセント (正しいアクセントで読めているか) | 5点 |
| ③作品朗読 夏目漱石・作「坊っちゃん」より抜粋 | (20点) |
| ◆滑舌と誤読 (読み間違いなく、発声で読めているか) | 4点 |
| ◆情景描写 (情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか) | 4点 |
| ◆抑揚 (抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか) | 4点 |
| ◆間と区切り (間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか) | 4点 |
| ◆緩急と強調 (緩急と強調に工夫があるか) | 4点 |

【準2級】

準2級の目的 A検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・単語や文章にアクセント記号を付けることができること
- ・同音異義語のアクセントの違いを理解すること
- ・鼻濁音や無声化の知識を身につけること
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

準2級の目的 B検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）
- ・朗読をはじめた理由を文章化すること（400字）

準2級の目的 A検定実技 B検定実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・高度な音声技能を身に着けているか
- ・正確な日本語アクセントで読むことができること
- ・登場人物それぞれの違いを表現できること
- ・表現計画で宣言した通りの表現ができていること

—実技試験内容と採点項目 A検定—

- ①作品課題 岡田光世・作「地下鉄の「マイ・ウェイ」」
（「ニューヨークのとけない魔法」文春文庫・刊より抜粋） (30点)
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく読めているか） 5点
 - ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点
 - ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
 - ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） 5点
 - ◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか） 5点
 - ◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか） 5点
- ②プロミネンス課題 (20点)
- ◆強調（強調部分できているか） 5点
 - ◆滑舌・誤読（明瞭に、読み間違いなく読めているか） 5点
 - ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
 - ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点

—実技試験内容と採点項目 B検定—

- ①作品課題 中勘助・作「銀の匙」より抜粋 (30点)
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく読めているか） 5点
 - ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点
 - ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
 - ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） 5点
 - ◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか） 5点
 - ◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか） 5点
- ②プロミネンス課題 (20点)
- ◆強調（強調部分できているか） 5点
 - ◆滑舌・誤読（明瞭に、読み間違いなく読めているか） 5点

- ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
- ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点

～重要なお知らせ～

下記、2級試験につきましては、受検者数の上限200名に達し次第、受付終了とさせていただきます。また、会場手配の都合上、受付期間も、5月31日までの受付とさせていただきます。

【2級】 ※試験日は、東京都内6月23日（土）、大阪市内6月16日（土）となります。

2級の目的 A検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・朗読活動を通じて実現したい事を文章化すること（400字）
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

2級の目的 B検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・聴き手に伝わる朗読に関する考えを文章化すること（400字）
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

2級の目的 A検定 および B検定実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・準2級で問われる課題を対面朗読でもクリアできること
- ・簡単な作品の初見読みに対応できること（A検定のみ）

一実技試験内容と採点項目 A検定一

- ①作品課題 岡田光世・作「地下鉄の「マイ・ウェイ」」
（「ニューヨークのとけない魔法」文春文庫・刊より抜粋） (30点)
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく読めているか） 5点
 - ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点
 - ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
 - ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） 5点
 - ◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか） 5点
 - ◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか） 5点

②初見課題 プロミネンス課題 (10点) ※試験日当日に、試験会場にて発表

- ◆自然さ（自然な強調が出来ているか） 5点
- ◆技能（総合的音声技能） 5点

③初見課題 詩 課題 (10点) ※試験日当日に、試験会場にて発表

- ◆読む速度と間（作品に合った読む速度と間か） 5点
- ◆表現力（表現の工夫があるか） 5点

一実技試験内容と採点項目 B検定一

- ①作品課題 中勘助・作「銀の匙」より抜粋 (30点)
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく読めているか） 5点
 - ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点
 - ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点

◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか）	5点
◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか）	5点
◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか）	5点
②プロミネンス課題	(20点)
◆強調（強調部分できているか）	5点
◆滑舌・誤読（明瞭に、読み間違いなく読めているか）	5点
◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか）	5点
◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか）	5点

2018年3月31日
(一社) 日本朗読検定協会